

Connectrix M シリーズ・ワークショップ

コース概要

Instructor-Led
Training

この3日間のワークショップでは、Connectrix M シリーズに焦点を当ててトレーニングを行います。このコースの70%は実習で構成されており、受講者はハードウェアのインストール、設定、保守、構成、ゾーニング管理、アドバンス機能について学習します。

コース番号 :	MR-5CP-CNNXMS-JPN		
コースタイプ:	実習	期間 :	3日間

受講対象者

このコースは、現在次の業務に携わっている方、または今後携わる予定の方を対象としています。

- SAN テクノロジーのお客様への紹介
- スイッチのインストール、ゾーニング、管理の実行
- ファイバ・チャンネル・ファブリック・ベースの SAN に接続するホストおよびストレージ・アレイの設定
- 顧客の SAN 接続の問題に関するトラブルシューティング

受講前提条件

受講前提条件はクラスに参加する前に修了しておく必要があります。受講前提条件となるコースは、次のとおりです。

- Connectrix M シリーズ・スイッチ/ダイレクタの概要 (MR-2WP-CMSS-JPN)
- Symmetrix の構成または CLARiX の構成に関する知識
- WindowsホストまたはSunホストに関する知識

目的

このコースを受講すると、下記の内容を学ぶことができます。

- M シリーズの各モデルおよびその機能の識別、Connectrix スイッチ/ダイレクタに接続するホストおよびストレージ・アレイの設定に関するオンライン情報の入手
- M シリーズ・スイッチ/ダイレクタの管理に使用可能なソフトウェア・ツールについての説明
- CLI または WEB TOOLS を使用した M シリーズ・スイッチ/ダイレクタのインストールおよび設定
- M シリーズ・スイッチ/ダイレクタの定期保守と構成作業
- ゾーニングの作成/バックアップ/リストア、ゾーン・セットのアクティブ化、接続に関する問題のトラブルシューティング
- アドバンス機能の説明および構成

Connectrix M シリーズ・ワークショップ

コース概要



Instructor-Led
Training

モジュールの内容

各モジュールは、コースの目的に対応するように構成されています。このコースには、次のモジュールが用意されています。

- モジュール 01: Mシリーズの各モデル、その機能、オンライン・ドキュメントの確認
- モジュール 02: スイッチ管理ソフトウェアの概要
- モジュール 03: ハードウェアのインストールと初期設定
- モジュール 04: 保守と構成作業
- モジュール 05: ゾーニングの管理
- モジュール 06: アドバンス機能

実習

実習では、学習した内容を確認します。このコースの実習は、次のとおりです。

- リソースの入手
- スイッチのコンポーネント
- 管理ツール
- DSM Connect
- Connectrix Manager
- スイッチのインストール
- サービス・プロセッサの構成
- Connectrix Manager の構成
- ファームウェアのアップグレード
- FRU の交換
- マルチスイッチ・ファブリック
- スイッチの交換
- ゾーニング
- トラブルシューティング

実力テスト

実力テストでは、学習した知識やスキルを確認します。このコースの実力テストの内容は、次のとおりです。

- すべての実習を問題なく完了させることにより修了と認められます。